

# 札幌市火葬場・墓地に関する運営計画

## 【パブリックコメント意見集】

令和4年（2022年）3月

札幌市

【市政等資料番号】  
01-F06-21-2297



## 目次

1	意見募集の概要 .....	1
2	意見の内訳.....	2
3	意見に基づく当初案からの変更点 .....	3
4	意見の概要とそれに対する札幌市の考え方 .....	4



# 1 意見募集の概要

## (1) 意見募集の趣旨

札幌市では年々少子高齢化が進み、今後、団塊の世代をはじめとした多くの方が寿命を迎えると、火葬場の混雑や無縁墓の増加といった火葬場や墓地に関する問題が深刻になっていくことが懸念されます。

このことから、札幌市では令和2年(2020年)3月に火葬場や墓地に関する問題と、それらへの対応について長期的な方向性を示す「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」(以下「基本構想」という。))を策定しました。

このたび、基本構想に基づく取組を具体化した「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画(案)」(以下「運営計画(案)」という。))に対する意見募集を実施しました。

## (2) 意見募集期間

令和3年(2021年)12月24日(金)～令和4年(2022年)1月31日(月)

## (3) 意見提出方法

郵送、持参、FAX、電子メール及びホームページ上の意見募集フォーム

## (4) 基本計画(案)の配布・閲覧場所

場所	本書	概要版
市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー	○	○
市役所本庁舎1階 パンフレットコーナー		○
保健所 生活環境課	○	○
各区役所 市民部総務企画課広聴係		○
各まちづくりセンター		○
ふれあいパンフレットコーナー (地下鉄大通駅定期券発売所並び)		○
札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場(東)		○

※ このほか、市内の葬祭業者、民間霊園及び葬送関連NPO法人さまにも、資料の配布にご協力いただきました。

## 2 意見の内訳

### (1) 提出者の年代別内訳

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
人数	1	0	2	3	3	2	1	12
件数	1	0	2	3	11	4	2	23

### (2) 提出方法別内訳

提出方法	郵送	持参	FAX	電子メール	ホームページ	合計
提出者数	0	0	0	0	12	12

### (3) 意見の内訳

分類	件数	構成比
全体について	0	0.0%
第1章 運営計画の概要	1	4.3%
1 計画策定の目的・趣旨	1	4.3%
2 計画の位置づけ	0	0.0%
3 計画の対象期間	0	0.0%
4 基本構想と運営計画について	0	0.0%
第2章 札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点	3	13.0%
1 葬送に対する意識	0	0.0%
2 火葬場	3	13.0%
3 墓地と納骨堂	0	0.0%
第3章 分野別の取組	19	82.6%
1 市民の意識醸成	3	13.0%
2 多死社会に対応した火葬場	5	21.7%
3 少子高齢社会に対応した墓地	11	47.8%
第4章 運営計画の進行管理等について	0	0.0%
1 推進体制	0	0.0%
2 進行管理と協議会の関わり方	0	0.0%
3 SDGs との関連	0	0.0%
第5章 資料	0	0.0%
合計	23	100.0%

※ 構成比の値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

### 3 意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆様からいただいたご意見をもとに、当初案から1か所を修正いたしました。

#### 第2章 札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点 2 火葬場

No.	修正箇所の項目とページ	
	意見の概要	市の考え方
	修正点	
1	● (6) 火葬場の収入傾向と施設整備や運用改善に係る費用の発生 (本書15ページ～17ページ)	
	・ 令和2年(2020年)の札幌市における火葬件数がグラフに反映されていない。	・ ご指摘いただきましたとおり、札幌市の令和2年(2020年)の火葬件数をグラフに反映いたします。
	・ P16ページに掲載している【図2-2-10 火葬件数、特別控室利用室数、使用率の推移】図を修正する。	

## 4 意見の概要とそれに対する札幌市の考え方

3に掲載した以外にいただいたご意見の概要と、札幌市の考え方は以下のとおりです。なお、趣旨が同様のご意見は、まとめて掲載しております。

### 第1章 運営計画の概要 1 計画策定の目的・趣旨

No.	意見の概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"><li>「多死社会」という表現は改めるべきではないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>今後、高齢化が進み団塊の世代の方々などが寿命を迎えることは避けられないと考えております。こうした状況を、市民の皆様にもご理解いただきたいことから、あえて「多死社会」という表現を使用しています。</li><li>なお、「多死社会」という表現は報道機関等においても広く使用されております。</li></ul>

### 第2章 札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点 2 火葬場

No.	意見の概要	市の考え方
2	<ul style="list-style-type: none"><li>「友引」にこだわる必要はないと考えるため、友引開場には賛成である。また、予約システムの導入にも賛成である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ご理解いただいておりますとおり、今後も多死社会に対応した火葬場を運営していけるよう、友引開場や予約システムの導入を進めてまいります。</li></ul>
3	<ul style="list-style-type: none"><li>里塚斎場は人流が交錯し、待合ロビーが混雑しているため、改善した方が良くと思う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>特別控室の利用率低下とともに、待合ロビーの混雑については、取り組んでいかなければならない課題と認識しております。改善に向け、検討してまいります。</li></ul>

### 第3章 札幌市の葬送を取り巻く状況 1 葬送に対する意識

No.	意見の概要	市の考え方
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>火葬場の収骨について、事情により親族の立会いが難しい人もいることから、故人や関係者の個別事情に配慮し、義務としないしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収骨の対応については、いただいたご意見のような考えのほか、多様な考え方があるため、慎重な対応が必要と考えております。今回の意見を含めて今後の取組の参考とさせていただきます。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在お墓の購入を検討しているが、どこに相談等をしたら良いのか全く分からないため、役所や役所が推薦する業者で相談窓口を設けていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、再公募のみの対応となりますが、市営霊園のことについてご不明な点等がございましたら、札幌市保健所生活環境課あてご連絡ください。 なお、民間墓地については、お手数ですが、直接お問い合わせいただきますよう、お願いいたします。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>延命措置やお墓など、自分や家族等の終末の意思を事前に話し合い、なんらかの文書にしておく必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亡くなった際の葬儀のことやお墓のことを家族等で話し合ったりするなど、葬送に関する行動をしている市民の割合が増えていくよう、市民への意識醸成について引き続き取り組んでまいります。</li> </ul>

### 第3章 札幌市の葬送を取り巻く状況 2 火葬場

No.	意見の概要	市の考え方
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>「多死社会に対応した火葬場」の内容は、新型コロナウイルス(Covid-19)のワクチン接種による死亡者数の増加を見越していると読み取れることから、札幌市においてワクチン接種後に死亡した人数についても追加資料として公表すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営計画(案)で示している「多死社会に対応した火葬場」の内容は、今後、高齢化が進み団塊の世代の方々などが寿命を迎えられることに伴い、長期間に渡って火葬件数が増加することが予測されることから、こうした状況に対応できるよう、火葬場に関する取組について取りまとめたものです。このため、新型コロナウイルスに関連する死亡者数については計画に反映しておりません。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の火葬炉使用料を有料にする際の負担額はどのくらいを想定しているのか。情報を公開し意見を募ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、火葬場を安定的に運営し遺族に寄り添った視点での対応を続けるため、火葬場使用料全般の見直しを行っていく予定です。また、市民の火葬炉使用料については、火葬場使用料全般の見直しと併せて、今後検討していきますが、その状況については積極的な情報発信をしてみたいと考えております。</li> </ul>

No.	意見の概要	市の考え方
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化、火葬件数の増加のため里塚斎場を建て替えることは理解できる。しかし、地震による被害で火葬ができなくなるおそれがあることから、札幌市の防災マップに表示されている月寒断層を避け、もっと安全な場所へ建て替えるべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里塚斎場の建替場所については、将来需要に対応可能な火葬炉数が設置可能か、駐車場等の火葬場機能を十分に確保できるか、新たな敷地の確保、費用等、様々な観点から比較検討しているところです。今回ご意見をいただいた防災上の観点も踏まえながら、引き続き検討を進めてまいりたいと考えております。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>故人との最期のお別れは、自宅から極力近い場所で送ってあげたいと思っている。近年、自然災害が多いことから、リスク分散のためにも里塚斎場・山口斎場以外の場所でご検討をお願いしたい。</li> </ul>	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>里塚斎場の建替自体は賛成ですが、場所を「敷地外隣接地」もしくは「現地」とすることに反対である。こうした嫌忌迷惑施設を豊平区・清田区に集中させるのか、他区に遊休地が本当に無いか調査検討したのか伺いたい。</li> </ul>	

### 第3章 札幌市の葬送を取り巻く状況 3 墓地と納骨堂

No.	意見の概要	市の考え方
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>低額な合葬墓の存在が、自身や親族の死後に対する考え方を希薄にさせているのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見等も踏まえ、合葬墓の利用料金については、引き続き検討していきます。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>平岸霊園の合同納骨塚の利用条件は、当初の引取者のいない方、すなわち生活困窮者等に戻すべきと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合葬墓については、「札幌市民のためのお墓」としての役割を継続しつつ、多様化するニーズに対応できるよう、引き続き利用条件や利用料金について検討してまいります。</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同納骨塚の申込者は札幌市民かつ相続人に限定されているが、今後は相続人が札幌市に住民登録しているとは限らないうえに、相続人がいないケースも考えられるため、この点を見直してほしい。</li> </ul>	
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同納骨塚において、市内の葬送関連のNPO法人や生前関係者の申込を可能にし、遺言書や生前契約以外の方法で故人の遺志を反映する方法を可能としてほしい。</li> </ul>	
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、お墓を作らない人が多くなると想定されるため、合葬墓の新增設をすすめてほしい。</li> <li>その際、市民の費用負担がどのくらいになるのか、情報を公開して意見を募ってほしい。</li> </ul>	
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>亡くなった人もこれから亡くなる人も不安のない死の受け止め方ができるよう、今後「墓じまい」についての広報活動や財政的な支援などを実施するよう希望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「墓じまい」を含め、墓地の利用に関する制度など必要な情報について、引き続き各種媒体による啓発等を検討、実施してまいります。</li> </ul>

No.	意見の概要	市の考え方
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が把握している「無縁墓」は2割強、私が現地で見た限りでは3割を超えているため、無縁墓の取組を行う「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画案」に賛成である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご理解をいただいておりますとおり、今後も継続して戸籍調査や看板設置等により無縁墓対策に取り組んでまいりたいと考えております。</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>無縁墓対策のため、墓を有期間で契約し、契約期間以降は共同墓地へ移す。また、支払いが滞るのを防ぐため、費用は先払いとする。さらに、墓碑は平面金属板、骨壺は4個収納可能などにするのはどうだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいたご意見も参考に、今後の霊園や合葬墓のあり方について、検討を進めてまいります。</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営霊園に先祖代々のお墓があり利用しているが、今更墓地管理料を追加で納めることは納得できない。まずは、新規受入の合葬墓の価格を見直し、その費用で市営霊園全体を維持管理できるように努めるべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営霊園の維持管理料については、使用許可時に20年分の管理料をいただいておりますが、使用開始から20年を経過した墓地使用者に対して、受益者負担の観点から見直しが必要と考えております。具体的な費用負担につきましては、今後検討していきたいと考えております。</li> </ul>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市は、墓地に関する取組に十分な予算を投入すべきであり、現状市営霊園にお墓を持っている人に新たな負担を強いるのは適切ではないのではないかと。</li> </ul>	
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>お墓を使用している方に費用を負担してもらうことは普通のことと思う。収入を増やし、市営霊園を維持してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご理解いただいておりますとおり、今後も持続可能な墓地を実現できるよう、新たな管理料制度の導入の検討等を進めてまいります。</li> </ul>